

ケルン市立ヴァルラフ＝リヒャルトツ美術館
コルプー財団所蔵

印象派のあゆみ

主 催：静岡県立美術館 静岡新聞社・SBS静岡
放送
後 援：在日ドイツ連邦共和国大使館／総領事館
協 力：ルフトハンザ ドイツ航空
ルフトハンザ カーゴAG
協 賛：JR東海
会 期：平成14年10月27日(日)～12月8日(日)
休 館 日：毎週月曜日と11月5日(火)

学芸員によるフロア・レクチャー
11月3日(日)、24日(日) 14:00～
11月30日(土) 13:00～
12月1日(日) 14:00～
12月5日(木) 13:00～
講師 新田建史 南 美幸 村上 敬(当館学芸員)

ドイツのケルン市立ヴァルラフ＝リヒャルトツ美術館
コルプー財団所蔵品から、印象派前後の作品を選び、
出品した。単にフランスの印象主義者たちの作品を展
示するのみならず、フランスにおける印象主義以前と
以後、そしてドイツにおける印象主義の受容や展開な
どを概観する展示となった。

コローやクールベ、ルソー、ミレーらの作品は、既
に伝統的な画法から踏み出しつつ、印象派への準備を
行なっている。またピサロやモネ、ルノワールら、い
わゆる印象派の画家たちの作品は、「印象派」という
言葉でひとくくりにされてしまう作品群の持つ多様さ
を、よく示していた。ゴーギャン、ゴッホ、シニャッ
クらの作品からは、印象派の作品が持っていた展開へ
の可能性がうかがわれた。さらにこれらは、リーパー
マンやトリュブナー、ローヴィス・コリントらドイ
ツの作家たちの作品と比較された。これにより、二つ
の地域ごとの作風の違いが明確になった。

カタログ

29.0×22.5cm

143頁

印象派の絵画 主題と巨匠たち / Dr. ゲッツ・ツイメッ
ク (ヴァルラフ＝リヒャルトツ美術館コルプー財団主任
学芸員)

作家・作品解説

出品リスト

関連事業

特別講演会

「印象派展で語る美術の印象」

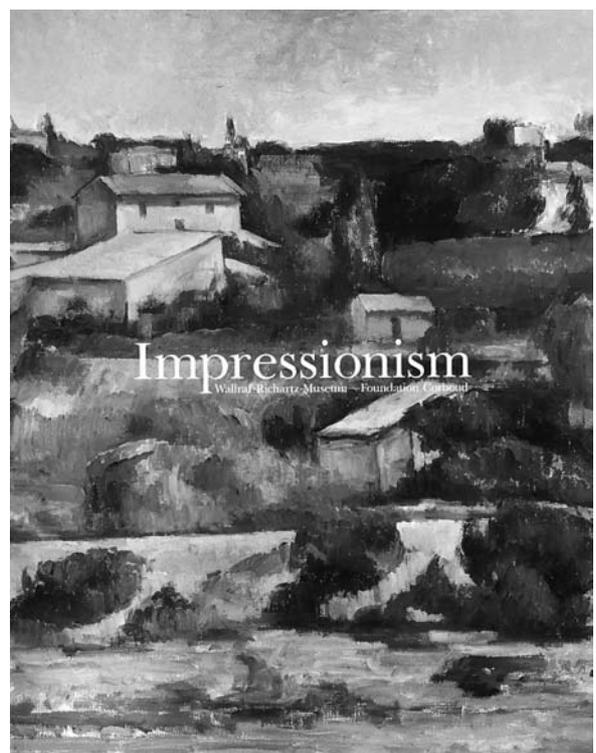
講師 加藤淳氏 (プロデューサー、デザインプランナー)

日時 11月10日(日)

第1部 14:00～14:45 講堂にて

第2部 15:00～15:30 「印象派のあゆみ」

展会場にて



カタログ

出品目録

作者名	作品名	制作年	材質等	寸法 (cm)
1 ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレー	1870年頃	油彩・カンヴァス	50×65
2 ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロー	アルルー＝バリユエル付近の古いレンガの橋	1871	油彩・カンヴァス	51×90
3 ルイ・ガブリエル・ウジェーヌ・イザベイ	海辺	1845頃	油彩・厚紙	25×31.6
4 ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	花の静物画		油彩・カンヴァス	93×72
5 ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	秋のフォンテーヌブローの森		油彩・板	27.5×40.7
6 ナルシス・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の道		油彩・板	26×19.8
7 コンスタン・トロワイヨン	牧場の牛		油彩・板	22×42.5
8 コンスタン・トロワイヨン	牧場の牛		油彩・板	23.5×34.5
9 テオドル・ルソー	森の風景		油彩・カンヴァス	36×55
10 フェリックス・イポリート・ラヌー	ヴェルサイユ近郊の工事風景		油彩・カンヴァス	41×32.5
11 ジャン＝フランソワ・ミレー	横たわる裸婦	1846/47頃	油彩・カンヴァス	54×65
12 シャルル＝フランソワ・ドービニー	オプトヴォスの渓谷	1857頃	油彩・板 (シナノキ材)	32×57
13 シャルル＝フランソワ・ドービニー	花咲くりんごの木	1857頃	油彩・カンヴァス	45×82
14 フランソワ・ボンヴァン	果物の静物 (ぶどう、桃、サクランボ)		油彩・カンヴァス	24×41
15 ギュスターヴ・クールベ	海辺	1865/66頃	油彩・カンヴァス	53.5×64
16 ギュスターヴ・クールベ	シヨン城	1873	油彩・カンヴァス	54×67
17 ギュスターヴ・クールベ	滝のある岩の風景		油彩・カンヴァス	74.5×99.5
18 カミーユ・ピサロ	ポントワーズの果樹園、日没	1878	油彩・カンヴァス	46×55
19 カミーユ・ピサロ	ヴァランジュヴィルのぶどう畑	1899	油彩・カンヴァス	46.5×55.5
20 エドゥアール・マネ	アスパラガス (静物)	1880	油彩・カンヴァス	46×55
21 アンリ・ファンタン＝ラトゥール	シャクナゲの小枝	1874	油彩・カンヴァス	54×57
22 アンリ・ファンタン＝ラトゥール	花束を活けた花瓶	1878	油彩・カンヴァス	46×39
23 ヨハン・クリスティアン・クローナー	獵師たちの集い		油彩・厚紙	30×48
24 アルフレッド・シスレー	ルーヴシエンヌの周辺	1876	油彩・カンヴァス	61×46
25 ボール・セザンヌ	エクス＝アン＝プロヴァンス西部の風景 (ベルヴェ平原)	1885/87	油彩・カンヴァス	65×81
26 ボール・セザンヌ	洋梨のある静物	1895/1900	油彩・カンヴァス	38×46
27 アンドレ・ジル (ルイ・アレクサンドル・ゴセ・ド・ギー)	エミール・ド・ジラルダン	1865頃	油彩・カンヴァス	91.5×73
28 クロード・モネ	アニエールのセーヌ河	1873	油彩・カンヴァス	55×74
29 クロード・モネ	エトルタの海岸の漁船	1884	油彩・カンヴァス	74×101
30 クロード・モネ	セーヌ河風景	1884/85頃	油彩・カンヴァス	67×82.5
31 オーギュスト・ルノワール	休息する裸婦	1890-95頃	油彩・カンヴァス	46×63
32 オーギュスト・ルノワール	縫い物をしているジャン・ルノワール	1898	油彩・カンヴァス	55×46

作者名	作品名	制作年	材質等	寸法 (cm)
33 カール・シューフ	鴨とほうろう鍋の静物画	1880	油彩・カンヴァス	58×73
34 マックス・リーパーマン	海岸で乗馬する男女	1910頃	油彩・カンヴァス	72.5×101
35 マックス・リーパーマン	馬と馬丁	1912	油彩・厚紙	81×64.5
36 マックス・リーパーマン	馬に乗る画家の娘ケート	1913	油彩・カンヴァス	80×100
37 エドゥアール＝ジョゼフ・ダンタン	緑の中に座る女性	1886	油彩・厚紙	39×19
38 ボール・ゴーギャン	秣を集める	1884	油彩・カンヴァス	58.4×72.4
39 フリッツ・フォン・ウーデ	庭にいる画家の3人の娘たち	1908/10頃	油彩・カンヴァス	55×67
40 クリスティアン・ロールフス	ゾーストの塔	1906	油彩・厚紙	67.5×97.5
41 ゴットハルト・キュール	笑う女性	1903	油彩・厚紙	53.5×38
42 ヴィルヘルム・トリューブナー	洗礼者ヨハネの首		油彩・板 (柳材)	17.5×24
43 ヴィルヘルム・トリューブナー	フラウエンキームゼーにて	1891	油彩・カンヴァス	62×76
44 フィンセント・ファン・ゴッホ	クリシーの橋	1887	油彩・カンヴァス	54.8×46.1
45 フィンセント・ファン・ゴッホ	牛の習作、ヨルダースによる	1890	油彩・カンヴァス	55×65
46 ローヴィス・コリント	ハンブルクの皇帝記念日	1911	油彩・カンヴァス	70.5×90.5
47 ローヴィス・コリント	ガラスの花瓶に活けた赤いバラ	1919	油彩・板 (菩提樹材)	54.5×36
48 ボール・シニャック	サン＝トロペ、静寂	1895	油彩・板	18.5×27
49 ボール・シニャック	カボ・ディ・ノリ	1898	油彩・カンヴァス	91.5×73
50 ボール・シニャック	サモワ習作 (サモワのセヌ河)	1899	油彩・厚紙に貼ったカンヴァス	26.8×34.9
51 ボール・シニャック	コンカルノー、港	1933	油彩・カンヴァス	53×73
52 ウィリアム・ドグーヴ・ド・ニュンク	雪景色	1925頃	油彩・カンヴァス	66×57
53 ピエール・ボナール	裸婦	1910	油彩・カンヴァス	123×46
54 ピエール・ボナール	ボートにて (ヴェルノン)		油彩・カンヴァス	81.5×116
55 マックス・スレフォークト	カール・シュタインパートの肖像	1918	油彩・カンヴァス	105×84
56 マックス・スレフォークト	サクランボの収穫、ノイカステルの眺め	1926	油彩・カンヴァス	90.5×116
57 エドゥアール・ヴユイヤール	アトリエの女性	1910/13頃	油彩・カンヴァスに紙	85.5×94
58 マックス・フリードリヒ・フェルディナント・ラーベス	1915年、戦争時のブリュッセル中央広場	1915	グワッシュ、紙	60×81
59 レオ・プッツ	グレーの肖像 (フリーダ・ブレル)	1906	油彩・カンヴァス	110×100
60 アウグスト・ドイサー	ティンパニ奏者とトランペット奏者	1907	油彩・カンヴァス	50×61.5
61 モーリス・ユトリロ	サーカス、あるいはヴォジラールの祭り	1927	油彩・カンヴァス	60×81